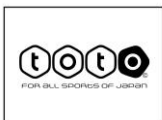




スポーツくじ



スポーツ育成委員会 ボトムアップ事業 ジュニア・ライフセービングスポーツクリニック 報告書

本スポーツクリニックは、子ども達にライフセービングスポーツの魅力・技術を伝え、地域のライフセービング人口の拡大を図り、ライフセーバーの育成・競技技術の向上を目的とする。

■概要

- ◇会場 岩井海岸（千葉県南房総市）
- ◇日時 2017年8月26日（土） 10:30～11:30
- ◇助成 スポーツ振興くじ助成事業
- ◇指導者 第10期 HPT 選手／HPT コーチ
HPT 選手 小田切伸也、三井結里花
HPT コーチ 植木将人、長竹康介

- ◇クリニック種目・指導内容 *荒天のためビーチのみ実施
・ビーチフラッグス W-up の仕方、ビーチの走り方、ビーチフラッグスのスタート

■報告事項

- ◇申し込み人数 92名

| 種目 | ビーチフラッグス | ニッパーボード | サーフスイム |
|----|----------|---------|--------|
| 人数 | 50 | 35 | 7 |

- ◇参加人数 ビーチフラッグス 80名

◇所感

- ・海のコンディションが悪くビーチフラッグスのみの実施となった。
- ・当初ニッパーボード、スイムのクリニックに申し込んだ選手で、当日の試合にビーチフラッグスに出場する選手は、ビーチフラッグスのクリニックに変更し受講できるようにした。
- ・HPT 選手が中心となり指導をし、コーチはサポートに回った。短い時間だったが HPT 選手にとってもよい指導の場となり受講生にもとっても日本代表選手に直接指導が受けられる貴重な機会となった。
- ・レース直前のクリニックでレースに繋がる内容であった。
- ・今後も日本代表選手がこのように次の世代に指導できる場を多く作っていきたい。

◇今度の課題

- ・長年の継続的な開催により、大会抱き合わせのクリニックでは、想像以上に参加者が多くなった。そのため今後は HPT プログラムの一環として多くの選手・コーチに指導側での参加を促す。
- ・当日の天候によりビーチのみの開催となり、急遽他の種目からビーチへの参加を募ったため、更に大所帯でのクリニックになってしまった。参加人数、年齢、性別と指導者の人数割り振りを今後は細かく分けて考えていく必要がある。
- ・クラブの指導者からは高評価の感想をいただいたので、是非引き続き実施していきたい。また同時にクラブ指導者も協力しあって展開していきたい。

◇記録写真

